

## 知床国立公園管理計画改定の方針について

1. 平成 5 年 3 月以降、見直しが行われていない状況。平成 17 年には世界自然遺産に登録されており、保全管理に係る体制が大きく変化している。また、自然生態系や公園利用の状況も変化しており、全体的な内容の見直しを行う。

### <世界自然遺産関係>

- 「科学委員会」「地域連絡会議」の設置と、科学的な知見や地域との連携・協働による保全管理体制の構築。
- 「知床世界自然遺産地域管理計画」「知床世界自然遺産地域多利用型統合的・海域管理計画」「知床半島エゾシカ保護管理計画」「知床半島ヒグマ保護管理方針」の策定。「知床エコツアーリズム戦略」の検討。
- 「世界遺産センター」「ルサフィールドハウス」の整備。

### <国立公園関係>

- 利用調整地区の指定（知床五湖）、生態系維持回復事業計画の策定（エゾシカ対策）等の公園計画の変更。
- 知床国立公園利用適正化検討会議の設置と先端部地区、中央部地区の利用適正化基本計画および利用の心得の策定。
- 知床五湖、カムイワッカ、羅臼湖等の主要利用拠点における検討・対策の進展。

2. 世界自然遺産に関係する各種計画等との整合性を図る。
3. 先端部地区および中央部地区の利用適正化基本計画は廃止することとし、必要な内容は本管理計画に反映させる。
4. 公園事業や行為許可等の取扱いに関する事項等、国立公園の適正な保護および利用の促進を図るために必要な事項について、検討会で重点的に議論のうえ決定。

## 知床国立公園 管理計画検討会の設置について

### 1. 検討会の構成

検討会は委員及び関係行政機関により構成する。座長は委員より互選する。また、事務局は環境省釧路自然環境事務所が務める。

#### ○委員

酪農学園大学環境システム学部教授 金子 正美 (環境情報／科学委員会委員) 【座長】

北海道大学大学院農学研究院准教授 愛甲 哲也

(公園管理／適正利用・エコツーリズムWG委員)

斜里町立知床博物館学芸員 内田 暁友 (植物／斜里町)

公益財団法人日本野鳥の会根室支部 田澤 道広 (鳥類／羅臼町)

#### ○関係行政機関

網走開発建設部

釧路開発建設部

北海道森林管理局企画調整部

網走南部森林管理署

根釧東部森林管理署

北海道オホーツク総合振興局

北海道釧路総合振興局

北海道根室振興局

斜里町

羅臼町

### 2. 検討会の開催状況

#### ○第1回 (平成24年6月7日)

- ・知床国立公園管理計画検討会の設置について
- ・知床国立公園管理計画の改定について

#### ○第2回 (平成24年12月7日)

- ・知床国立公園管理計画の改定について